

前回に続いて、本の話です。

私が1988(昭和63)年に『テニス、そして殺人者のタンゴ』で講談社からデビューしたとき、岩手日報の学芸記者が古い新聞のコピーを持ってきてくれました。それは、かつて岩手日報が主催していた読書感想文コンクールの記事でした。コンクールに入選した小学生による座談会が載っていて、その中に小学生6年生の私がいたのです。それを見せられるまで、私はそのことをすっかり忘れていました。いえ、記事を見ても自分のこととは思えませんでした。読書家だったという記憶がないのです。

私の家では父も母もよく本を読んでいた。『オール読物』などの月刊文芸誌や『暮らしの手帖』などの月刊雑誌が家にはいつもありました。しかし、絵を描いていたことと自転車をよく乗り回していたことの記憶に比べたら、読書に関しては実に曖昧です。学校の図書館にあったSF小説を読んでいたことは覚えています(それらは都筑道夫や平井和正らSF小説の巨匠が子ども向けに書いていたものだと後になって知ることになります)、読書感想文の対象にはなりそうにありません。

いずれにしても、両親が本を読んでいる姿に触発されて、私も本を読むようになったのでしょう。読書週間(月間)だからとか、読書感想文を書くためにといった強制的な読書だったら、身につかなかったと思います。私の家では、ふだんの生活の中に読書があったのです。そういう意味で、読書のきっかけをつくってくれた両親に感謝しています。

さて、話は美術館に飛びます。

ある調査で、美術館に来ている方のうち、ほとんどの方は子どものころに学校の行事で、あるいは両親に連れてきてもらったことがあるという結果が出ています。子どものころに美術館を経験していると、美術館に行く習慣が身につくやすいことを示しています。逆に、子どものころに経験していないと美術館に敷居の高さを感じてしまい、行きにくくなるようです。

岩手町では、町内の小中学生が1年に1度必ず石神の丘美術館を見学することになっています。美術館は「美術の勉強をするところ」ではありません。多様な文化に触れ、想像力を伸ばす場なのです。もっと簡単に言うと「美術が必ずしも一様ではないのと同じように、世の中にはたくさんの文化がある」ことを知ったうえで、「多様な文化をどのように理解して接すればよいのかを考えるきっかけとなる場」です。美術館を経験した子どもと、そうでない子どもは、社会に出てから何らかの違いが出てくると私は思っています。

読書の習慣のある子どもとそうでない子どもの違いは、説明する必要がないでしょう。

ishibi

2017. 10 Vol.175

平成 29 年 10 月発行
発行・岩手町立石神の丘美術館
岩手県岩手郡岩手町五日市
10-121-21 〒028-4307
TEL 0195-62-1453
FAX 0195-62-1477
<http://museum.ishigami-iwate.jp/>

うつつせみ
— 生きたものの記憶 —
彫刻展 田村史郎

9月30日(土)～11月5日(日)

開館時間:9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)
観覧料金:一般500円/大・高生300円/中学生以下無料
〈東北文化の日〉10月28日(土)・29日(日)および
〈文化の日〉11月3日(金・祝)は観覧無料



《夏》1987年 アフリカ桜・鉄

田村 史郎 彫刻展

うつせみ ー生きたものの記憶ー

1947年、岩手県一戸町生まれの田村史郎は、父・貞吉と親交のあった同町出身の彫刻家・舟越保武(1912-2002)のすすめで1966年、東京造形大学造形学部美術学科に第一期生として入学。佐藤忠良(1912-2011)・岩野勇三(1931-1987)らに指導を受ける傍ら、舟越のアトリエに通い学びました。大学卒業後も研究生として研鑽を積んだのち同校で後進の指導にあたり、2012年教授職を定年退職するまで多くの学生を育ててきました。

「女性」「家族」「子供」などをテーマとした木彫作品からは、人体そしてそこに宿る命を見つめる彫刻家のあたたかなまなざしが感じられます。

この展覧会では、1980年代から近作まで田村史郎の作品を紹介し、その歩みを振り返ります。

会 期:9月30日(土)~11月5日(日)
 開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)
 休 館 日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日休館)
 観覧料金:一般500円/大・高生300円
 中学生以下無料



《遠い日》 1992年 楠・鉄
 萬鉄五郎記念美術館寄託



《夏》 1995年 楠

第56回 岩手町芸術祭【展示部門】

展示作品:絵画・書道・文芸(詩・短歌・俳句)・華道・写真・手工芸など
 出 展 者:町内小中学校、町芸術文化協会、町内各サークル、個人

会 期:11月11日(土)~26日(日)《入場無料》
 開館時間:9:00~17:00(最終日26日は15:00まで)
 休 館 日:11月13日(月)、20日(月)
 展示会場:石神の丘美術館企画展示室・ギャラリーホール

[主催]岩手町教育委員会・岩手町芸術文化協会・岩手町学校教育研究会
 問い合わせ先:岩手町教育委員会事務局 社会教育係 TEL 0195-62-2111(内線343)

ドライフラワー教室

《お正月飾り》



羽子板に栴や松など季節の素材を飾りつけてみませんか?はじめての方も、どうぞお気軽にお申し込みください。

日 時:11月19日(日)10:00~12:00
 場 所:石神の丘美術館 工房棟
 参 加 費:1,800円(材料代)
 定 員:15名(予約制/先着順)
 指 導:花ちゃ花ちゃ工房
 (町内ドライフラワーサークル)
 申 込 み:石神の丘美術館 ☎0195-62-1453

美術館隣接 道の駅 石神の丘/レストラン石神の丘情報

道の駅 石神の丘 TEL0195-61-1600/レストラン石神の丘 TEL0195-61-1602

営業時間のお知らせ

11月からの道の駅「石神の丘」各施設の営業時間をお知らせいたします。

- 産直施設/9:00~18:00
- レストラン/10:30~18:00
(ラストオーダーは17:30)
- 茶屋っこ/9:30~16:30
(定休日:木曜日)

~新メニューのご紹介~



焼きリンゴと
 バニラアイス
 ~カラメルソース添え~
 330円(税込)



岩手町産
 根セロリの
 香草フリット
 300円(税込)



岩手町産
 根セロリの
 ビシソワーズ
 150円(税込)

今年もやります!!

秋の大収穫祭

11月18日(土)・19日(日)
 9:30~15:00